

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		老人医療費給付事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連							
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康				
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	松岡将司				
	基本事業	46	保険医療制度等の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2116				
法令根拠		老人保健法											
予算科目	会計	20	款	1	項	1	目	1	事業連番	10417	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	-
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		58	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~		年度)	コスト削減優先度評価結果	-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)													
【事業の内容】・医療給付事業 老人医療受給者が受診した医療費(一部負担金を除く)を熊本県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金を通じて医療機関へ支払うものである。 ・医療費支給費 【業務の流れ】・医療費の支払い(毎月) 【主な予算費目】老人保健特別会計(負担金補助及び交付金、役務費、委託料、繰出金、予備費)													

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) ・医療の給付 ・医療費支給 ・一般会計繰入、繰出	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 老人医療制度は平成20年4月より廃止となったため、21年度の医療費の支払いは、再審査等で請求があったものに限られることから、事業費を1千3万4千円と見込んでいる。平成22年度までは特別会計で予算計上予定ですが、23年度は一般会計で計上予定。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・老人医療受給者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 審査支払件数 件 イ 給付額 千円
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適切な医療が受けられる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 老人医療受給者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・保険医療制度等が適切に運営される。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 1人あたり医療給付額 円 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 一般会計からの繰入額 千円 イ 保険給付費に占める保険税率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	1,131,902	1,275,718	136,688	133,460	2	1	0	総 ト ー タ ル 複 数 年 度 の み 記 載)	
		都道府県支出金	千円	293,817	312,813	34,070	33,365	2	1	0		
		地方債	千円									
		その他	千円	2,419,557	2,379,113	206,689	200,190	10,030	1,000	0		
		繰入金	千円									
	(A) 事業費計		千円	4,060,986	4,089,230	482,186	400,381	10,034	1,002	0		
	うち指定経費		千円									
	うち時間外、特殊勤務手当		千円									
	人件費	正規職員従事人数	人		2	4	4	4	4	4		
		延べ業務時間	時間		575	388	388	388	100			
(B)人件費計		千円	0	2,289	1,544	1,544	1,544	398	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,060,986	4,091,519	483,730	401,925	11,578	1,400	0	0		
活動指標	ア 件 イ 千円			124899	15000	12750	500	50	3	目 標 合 計 数 計 値 画 22 年 度		
対象指標	ア 人 イ 千円		3751024	3937736	482186	401925	10034	2000	3			
成果指標	ア 円 イ 千円		780001	821731	100455	80465	2000	0	0			
上位成果指標	ア 千円 イ %											

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
・老人医療制度については、昭和58年2月に老人保健法が施行され現在まで事業を行っている。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
・老人医療制度については、平成19年度までの事業であり、「老人保健法」に基づいて事業を実施している。
医療費は年々高騰する傾向にあり、医療保険制度を堅持するためにも医療費の適正化に向けた、各種事業に取り組む必要がある。
・「老人保健法」に変わり、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき平成20年度から後期高齢者医療制度が開始される。
平成20年度より、全ての75歳以上の高齢者を対象とした、後期高齢者医療制度が始まったため、給付はしなくてよいが、平成20年3月診療分まで再審査等(時効2年)で支払いがある場合があるので、事務事業は平成22年度まで残ることになる。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
・患者負担(一部負担金)の割合が2割から3割に改正されたことにより、負担増となっている。

事務事業名	老人医療費給付事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の適切な医療が受けられることによって、上位目的の保険医療制度等が適切に運営される。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 国が定めた社会保険制度であり、高齢者の医療を確保する上で必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図とも適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 平成20年度より、老人医療事業が廃止されたため
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 老人医療制度に代わって、全ての75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が始まったため。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 平成20年度より、後期高齢者医療制度が発足と同時に、担当課も高齢者支援課で担当するようになった。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 老人医療制度に代わって、全ての75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が始まったため。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 老人医療制度に代わって、全ての75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が始まったため。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 老人保健法により実施しているため。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	平成20年度より、全ての75歳以上の高齢者を対象とした、後期高齢者医療制度が始まったため、給付はしなくてよいが、平成20年3月診療分までで再審査等(時効2年)で支払いがある場合があるので、事務事業は平成22年度まで残ることになる。																						
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	8	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)